辰享元年十月九日

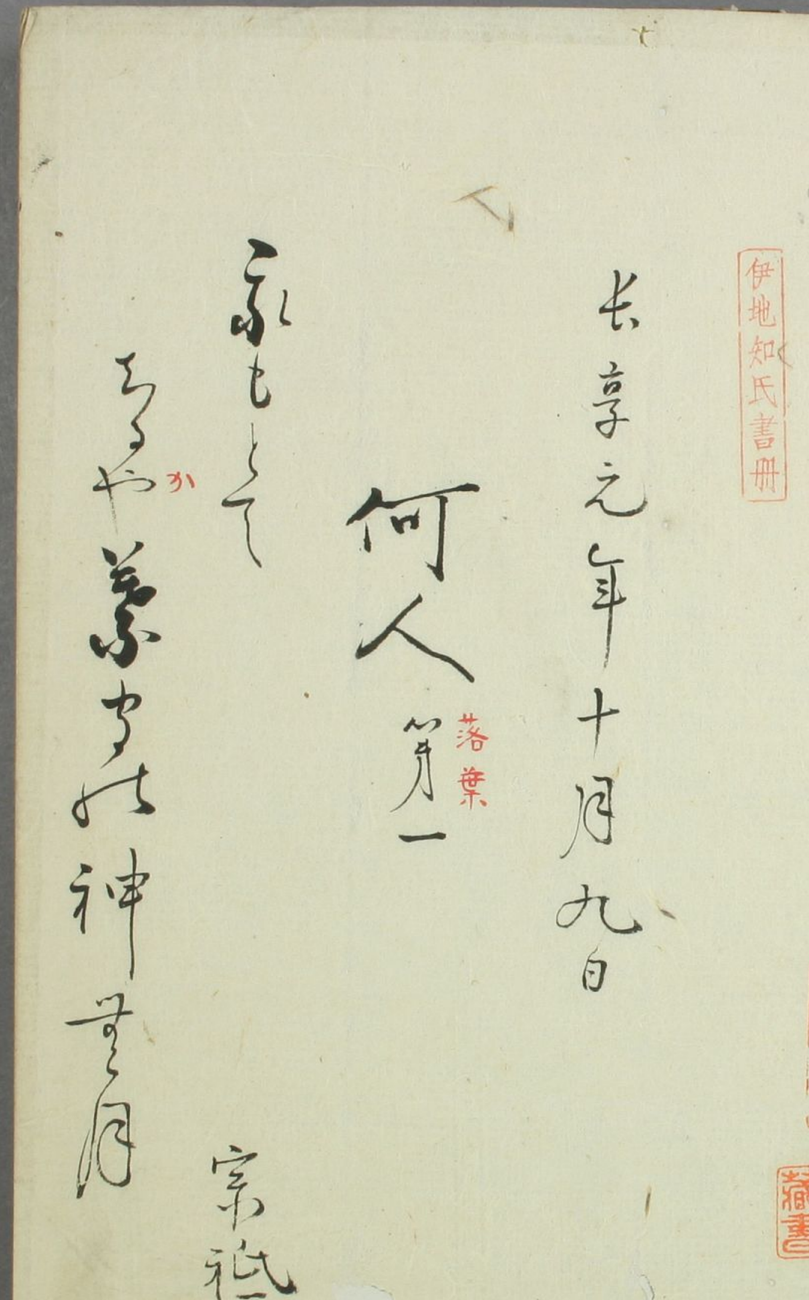
連歌一千句

完

伊地知文庫
文庫20
23

文庫20
～23

伊地知氏書冊



長享元年十月九日

何人

落葉

第一

宗祇

宗祇庵
島田藏書

こほりて捨る柏木はもなし　肖柏
時雨きしらる東の山風（嵐）絶えて　宗牧（般）
夕を帯つる天そ涼しかし（涼）　兼載
よるは誰流に舟をとゝむらん　宗友
在明のそらに送る（送）旅人　宗長
うち拂ふ霜の枕に秋更て　恵俊
迷ふ野はらに草の虫の声　玄清

末遠き山の下道草しけく　恵林
分くれは袖に風そ吹しく　宗恕（恕）
旅る日数の宿は閑にまかせて　眠行
色いとしもとめぬ雲の立迷ふ　重信
明日またいとふ月きの嵐いかならん　宗悦
旅人はいかゝうけもならし　宗祇
ましうまよむかしかりゆかりの友（友）　宗長

[illegible] 宗牧（般）
[illegible] 言清
[illegible]（物思ひ）
[illegible] 為俊
[illegible] 前相
山里は [illegible] 業忠
花ゆゑ [illegible] 宗友
白雲 [illegible] 宗祇
[illegible] 雁（を）を [illegible]（わすれ）

[illegible] 寄鶴（ひうきイ）宗长
[illegible] 定家の釣舟 宗祇
世をいとふ [illegible] 宗祇
[illegible] 蘆の [illegible] 宗牧（般）
遠 [illegible] 為俊
[illegible] 夕風の [illegible] 宗友
[illegible] 捨て [illegible] 業忠

[illegible] 肖柏

[illegible] 宗長（悦）

[illegible] 行と志[illegible]（き） 宗悦（長）

[illegible] 山陰（の） 宗悠

[illegible] 松[illegible]の[illegible] 英俊

[illegible] 月[illegible] 宗祇

秋の野（へ）

秋の[illegible] 枕 [illegible]

[illegible]（きイ）[illegible] 夢[illegible]（あくるイ）[illegible] 英林

[illegible] 宗祇

[illegible]（いひイ）[illegible] 蒹葭

[illegible] 宗牧（般）

[illegible] 袖[illegible]（もうし） 宗悦

[illegible]（おイ）[illegible] 花[illegible] 宗祇

[illegible] 川[illegible] [illegible]

雨うちそゝみ春ハくれけり　宗長
今生まても帰るかみ草の戸に　肖柏
秋気をむし誰をまちらん　蕃徳
ふし侍て身をやどりかしよはよひの月　宗教
掛小袖さるに露むすびきころ　宗友
霧はるゝちの山中にハ花すゝき　宗長
刈や田面乃すゝきにをさけ月　無林

旅人の迷ふ庭広ハ庭もなし　宗祇
聞てゆくうゑや一つの寺あるを心　肖柏
雲かゝり峰のこえしも杉むらん　宗長
ともしきまさきて一つの神垣　宗友
老をまもく移る峰の寒き風　無林
世も頼り苦る之浪に別る　宗長
舟とむる山際しらく月出て　宗祇

数しこゆる海佐の雪　前柏
佗イ
つくるとこしかくるとも共に後　主清
いとき好まてて　老の夏　巻誌
とひイ
今少し事もしたまてて　真樹　般
すすまるきこうつるまて　宗牧　恕俊イ
雨ふるき風も傾く雅の月　宗恕　俊恕イ
さもやあく移ん　峯の松風　肖柏

あらし川里ふる葛の秋の音　宗友
庵の野をやふるん　宗長
露も只
とく雲もおひよもすれて　宗祇
永玉の結ふ人　ふるて好き　宗牧　友
つけて
ひく友うきゆるきてい清ふん　宗悦
重なあし　花とちるイ　雪　主清
きりイ
散し春は名残の秋と帰て　巻誌

う雨をはらまれて雲は蒸して　宗长
うちはらふ山やまもる秋の夕　兼俊
世をもれる人に[に]ふれやうき　肖柏
をもまぶかう月の山のうちは霧して　宗祇
踏なれて言葉の[の]秋のそら　宗牧[般]
野ゐを分ぬ一ぬち重ての

落くこき[く]岸の[の]露[イ]ふまれて　宗悦
白うはしる雲[むら]の　兼俊
遠[遠く行道]く行くはるかの人の笠　宗长
をうてそそやぶる[床の上]　宗牧
ちこうゐ石をうつ手ぬ　肖柏
うちはらふ山ぶしの戸　宗牧[般]
螺鐘[かひかね]いつもきこゆる　宗祇

法をうらふ　法師ふん　宗牛

古寺は苔は面洗ふてる　宗友

事うき世はよ　所世ふるる　宗祇

里人の　ふるさとたちも　宗悦（般）

なりぬらん　月はてて　無俊

うゐ　ふるこえ　秋の色　宗清

はつしぐれ　降ちらす　宗恕（想）

捨子は　うとみ　情　形　前柏

市は　うせ　おのが　恵　宗友

埋　ぬ　ぬ　ぬ　宗祇

知ふ人の　ふるさと　後の世　宗牛

山ずうこ　ふる　毛　ふ　恭徳

苔　外　草　宗悦

うす　草　宗悦　無俊

宗祇　十四五
肖柏　八九
宗般　九
宗恕　五
眼阿　一八
泰謙　九

玄清　八
宗友　十一
恵林　三
宗長　十二
重阿　二
宗悦　六

恵俊　十一

何路　八月二　時雨

志賀や　都も山の　はつしぐれ

巻徳

月きよい屋の[illegible]夕[illegible]　宗长
[illegible]の花[illegible]折[illegible]ら笠[illegible]　重信
[illegible]　月柏
[illegible]　[illegible]廣[illegible]遠ミ　宗祇
[illegible]　宗牧
[illegible]般
[illegible]　[illegible]信
[illegible]　宗悦

[illegible]夕の色をうて　西俊
[illegible]　宗友
[illegible]たえ[illegible]　西林
[illegible]　宗怒
[illegible]　[illegible]
[illegible]　眼行
[illegible]　宗牧
名[illegible]　[illegible]　宗长

又いとうて　山に入てゝ　西俊
うきをかうをしるかたをふかくて　宗悦
かゝる間は　友の　春徳
分はう　人は　宗友
むらへい　花は　宗紙
梢の　葉は　風まち　春徳
川　てゝ　こゝ　梅の　肖柏

鐘をき　岩の　うみ　色　号　初　宗紙
はゝ　駒を　はゝ　宗友
乃俊　春　ゝ　宗悦
人の　ゝ　教　春俊
ひけ　ひ　世を　春牧
ゝ　例の　も　梓号　宗牧
ゝ　ゝ　重信
ゝ　宗春

しくうも好きを宴き秋気　宗祇
笠うち寄あまて初る月哉　肖柏
あけぬるいうよ夢とものこゑ　宗友
荒法る岩の花も咲て　宗长
まちとこつそよ帰る猿人　蕉誌
うち出も都の古うしやうん　宗祇
ときはうてい山も和らぎし　宗长

面をひて向後をよ郭ら宗牧（般）
永世の中を業のこうを好き　宗悦（む）
明ふをとをしんくるを花うをよ　宗祇
うをも和歌を稲を好きや　宗长
嘯乃居の松風を吟せて　宗友（捨）
月を又きいて　宗牧
ちをめ好きんや和のセ好ん　為俊

和歌山にて
初雁を聞く　宗牧（般）
あさきぬ江ふかの海の
なかなかに　宗友（又）
よる波ばかりの
芦鶴くる　宗悦
月明る蘆の
とまを
遠く
雲
人　宗祇
ゆく
にかい
市
うの
みふん　宗长
うらの
いとふ
重
宗柏

花も
ちる
海
来
恋
ゆく
風
ふん　宗长
きこえ
宗牧（般）
つ
の
碑
の
ゆ
宗柏
生
海
夜
月
の
美
兼
大井川山の
猿の
更
宗祇

松にちよある春日かけ　宗長

ゆきさへに枯野の霜はかくるらん　玄清

迷の山ふかくも身はうきならし　宗友

行つきし人は舎に先立て　恵俊

吹風は音をとゞめてきく之　宗祇

身を恋しおもひ錦つき深きほとに　宗牧

浅き夢をも醒しかぬらん　恵俊

待はそらなやきてもとゝまらむ　宗恕

うかりしも雲る紐みのそらう　宗悦

山の端も清よこころ舟出して　重何

しらしよむちしも影ならん　肖柏

うき旅ある人よりとよ身は命後　宗友

年きさうら場も暮ては迷ひし　恵俊

おかしける世の罪道いはなん　宗祇

たれもしらぬ松のこゑきく　肖柏
葦わけて玉津島もり行きみて　宗長
汐のとをしはいよもの浦しく　宗友
かくて世をうしや果ん恵衣　恭諶
おもひえをは夢よ世はうしく　玄俊
法を知て世はまきなき牛の原　宗祇
へたゝりし京に身をよそへ　宗長

春まちぬ松やしたる山里よ　重行
うつりもぬとりいでし松の戸　宗友
こもれは又こゝろしけゝ風もうし　宗牧（般）
秋風にさく雲ふみ通ふし　宗祇（聞之）
さねとしも志ある砂のしきて　玄俊
うつゝともゆめの世の浦き　宗長（悦）
日に月に身をとふらぬよ　まつして（舎かせ）　重行

まえうの　野へのの　草　寥　肖柏

あすをいまをいとふとん　加賀　宗清

こゆるもまさぬ　年の想　宗祇

うちき　杉や　鈴の　未代冬　宗長

紫　まきつくを　杉　流　宗友

山ゐを　一　杉　伏　宗祇

月ゆい　ふく　流　すをこの　肖柏

きけい　寒　寒　さ　の　秋　南　宗悦

とみも　松　の　屯　海　後　養　誌

紅　点　杉　ち　高　ひて　仕　人　清

竹　の　屋　い　人　し　の　杉　ち　宗長

聞　きい　出　て　仕　ふる　寒　代　よ　恵俊

と　ま　く　涼　し　く　南　光　川　北　宗牧

夏　屋　よ　ち　高　生　ん　ち　ち　夏　て　肖柏

[illegible]に[illegible]を置の数〻　宗悦

祇　十四
諶　十
清　十二
恕　六
柏　三
殷　十
九

林　一
俊　十
友　十二
重　六
眼　一
長　十三

悦　八

白何　冬月　第二

市[illegible]を
月[illegible]の[illegible]

宗悦

[illegible]
雪[illegible]山[illegible]（ミえ）て　恵俊
[illegible]村[illegible]　宗祇
[illegible]面の[illegible]（はイ）　肖柏
裾野[illegible]　[illegible]　宗友
[illegible]風[illegible]　巻恵（般）
ゆけて[illegible]　宗牧

山[illegible]　宗長
[illegible]（隔りん）
[illegible]　宗長
吟くも（こイとカ）[illegible]　宗恋
[illegible]鐘[illegible]
[illegible]　重行
[illegible]蹄[illegible]　宗祇
[illegible]鏡[illegible]（せイ）ん　恵俊
[illegible]　宗長

人のみちあき山峯の古寺　宗悦
山風や[illegible]　蕉堂
ちきりの花よ[illegible]　無俊
[illegible]忘や[illegible]　重行
[illegible]　宗祇
[illegible]の[illegible]長[illegible]　宗牧（般）
[illegible]の[illegible]　宗友

[illegible]ちくらの時への[illegible]　長人（捨らん）　青柏
[illegible]　宗長
[illegible]　宗祇
[illegible]　山の[illegible]　宗祇
[illegible]　宗悦
[illegible]夢[illegible]　宗友
[illegible]　主信
[illegible]　宗牧（般）

秋のあさ　竹市里より　宗悦

星合ぎりを　ふる雨の　俳し　肖柏

ほうこん　後の夕とも　忘れず　惠俊

生きちる　夏も　むすび　常門　宗祇

都　いとい　くるる　ふる　宗长

うつやよく　ふる　狗やまむ　宗友（柏イ）

ゆふ　うるる　みる　俳　俳　業忠

[illegible]　ヒ1　[illegible]　宗长

月　[illegible]　杉の　下風　宗祇

泊瀬の　うつる　白　[illegible]の　[illegible]　宗悦

[illegible]　[illegible]　重信

[illegible]　[illegible]　宗长

[illegible]　山　[illegible]　[illegible]　宗悦

[illegible]　[illegible]　肖柏

花ハ市川ヨリ　松本つき　宗牧
松もん　紫　横の風のんよ　宗友
よハくも　落る　雨の　重の
せくれもそやの　つ　萩ヨ　宗祇
とりそ　一つ　を人　を　弟如雲　宗悦
草　ま　くを　砂　風を　悪　俊
鹿
ちりし　雪　そき　芝の　一すち　肖柏

ふる　山　けん　月　宗牧
多　ゆ　ふよ　を　舞の　宗長
市　ふ　ち　秋　きの　ふよ　秋　茶語
うきふ　し　よ　ま　宗祇
数　如　を　つ　肖柏
人の　ふ　く　イ　宗長
秋　如　を　苔衣　悪俊

そをしらぬさき世やはかなし　宗般
ちる紅葉入江や物の思ふらん　宗祇
こゝろさへ岩のかけみち　宗友
呼子鳥啼て谷のふもとよ　宗長
まつ川としきうついつを知らめや　宗祇
うき世に住しわれを只　肖柏
ことしほとゝはうきもうらみし　宗長

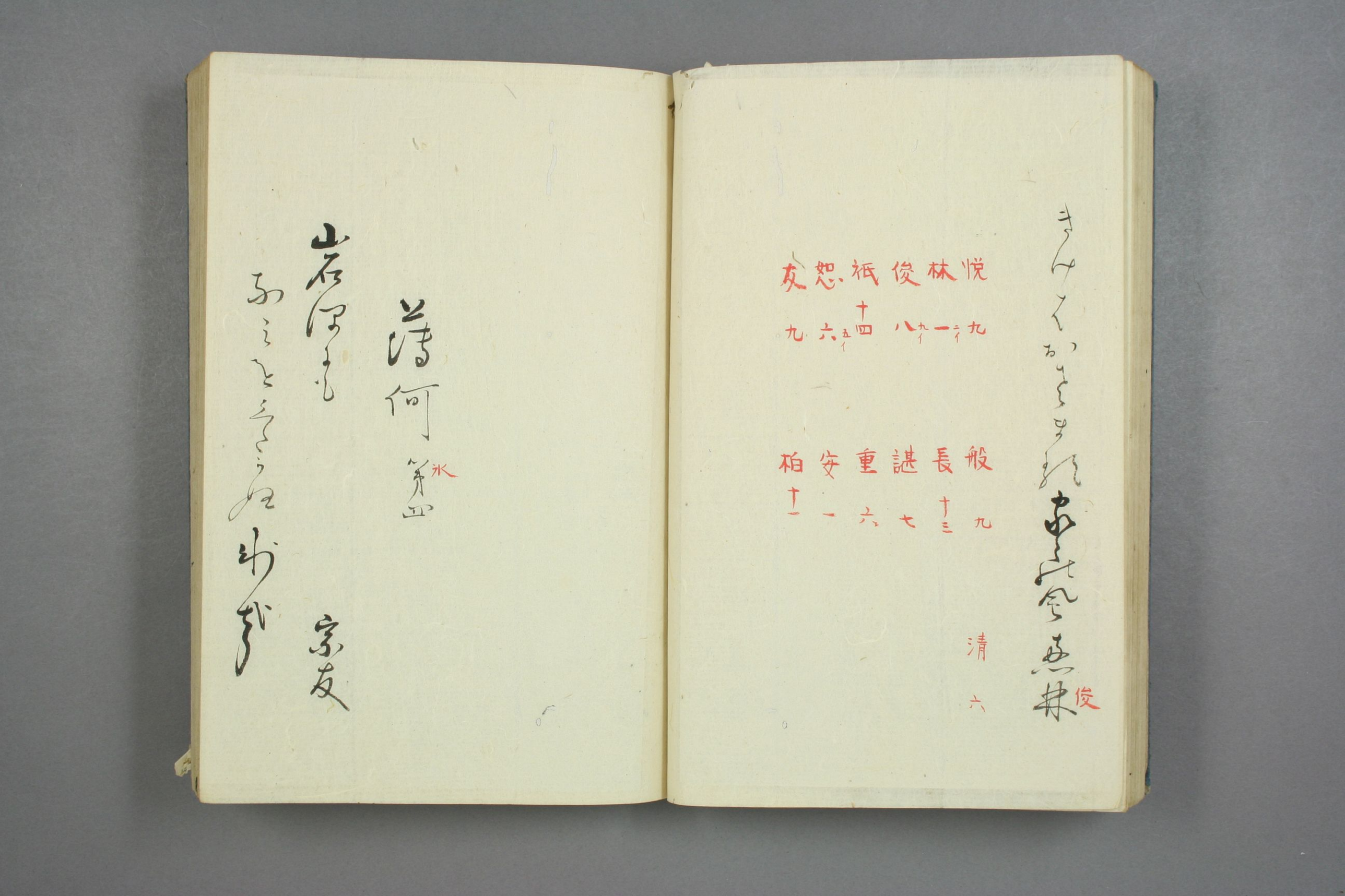
後の世を頼むもなけめ松の夢　直俊
身はぬけり末に何と定めん　玄清
兎に角に帰るも昔はやすらうき　宗祇
外にはしらしつゝむ恋は思ふ　肖柏
つまもなくおもはぬ月に秋更て　宗長
衣しもあはぬ袖の白露　養湛
きりゝす哀ある比となき　宗友

[illegible] 家牧
[illegible] 園山 [illegible] 肖柏
[illegible] 山 [illegible] 家祇
[illegible] 家忠
風 [illegible] 山 [illegible] 為俊
[illegible] 家恋
[illegible] 家清

人 [illegible] 野 [illegible] 家忠
[illegible] 家友
問 [illegible] 便 [illegible] 雪行
[illegible] 家悦
中 [illegible] 消 [illegible] 盛安
[illegible] に [illegible] 家牧 般
雲 [illegible] 植 [illegible] る 牧 [illegible] 家祇

垣ねの草ハ野分の遊ひ寄　宗長
露ちる月ハ梢に移りて　宗悦
こゑおもまつる人ハなし　重行
都ハ旅と思ひてや夢も路ならん　兼載
ちきりしころや雨ぞみぬ山　肖柏
時雨れしもちらん吉野の花も　玄清
こゝろしもなくよそに梅か香　宗牧

きえぬかうへに雪そふ庭ハ木隠て　宗長
猶しくれける村の葉くさき　兼載
月を雲路か旅と思ひこゝもる　肖柏
人をうけよ秋をふけり　盛俊
そよぐ葉ハ露のおきつる秋かえて　宗碩
昔からまとへ人やいかにせん　宗友
思ひかね昔つくる大河て　宗悦



悦林俊紙恕友
九一九八十四六九

般長謙重安柏
九十三七六一十一

清六

俊

氷

清何第四

宗友

[illegible]山の風も[illegible]（かい） 宗祇

[illegible]桂の[illegible]を[illegible]月[illegible]て 巻[illegible]

[illegible]の鐘のさやさ 宗牧（般）

遠きて[illegible]さうしの[illegible]の[illegible]昭[illegible]の

[illegible]（こ）く[illegible]を[illegible]

遠近の[illegible]

雨の[illegible]の[illegible]の[illegible]月 柏

郭と人[illegible]宗祇

[illegible]の[illegible]の山 重[illegible]

世[illegible]

雲の社[illegible]

白[illegible]の[illegible]（また） 牛[illegible]の風 巻[illegible]

[illegible]（にむすへる）[illegible]

頼（め）[illegible]宗祇

[illegible]

行く門に[illegible]乃[illegible]て　宗友

うす紙の[illegible]より　珍碩　宗長

山を[illegible]ゆつけ[illegible]　宗祇

[illegible]くもしらきの[illegible]の書[illegible]　宗信

[illegible]ふんもよちきりの風を[illegible]て　宗悦

[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]俊

[illegible]

[illegible]　宗友

[illegible]　宗長

人[illegible]　[illegible]

[illegible]　宗信

[illegible]　宗牧

[illegible]　肖柏

[illegible]　[illegible]

[illegible]　宗長

[illegible]人の家にうゑん　宗友
招くとも玉も祝ふとそなはる　無優
うゑうゑし中とうふくらはさ　宗祇
[illegible]を忘うみと感めよ　肖柏
そし[illegible]ゆる一家の涼　兼宣
[illegible]川みきわかる宮ゆ[illegible]て　宗牧（般友）
[illegible]ひ[illegible]　宗悦

[illegible]山の月やあはれん　宗祇
をとはひ人の　社をさみ　宗長
うちし木を[illegible]に手にイ　無俊
[illegible]の[illegible]を[illegible]　宗悦
[illegible]を[illegible]　宗祇
[illegible]　肖柏
忘れや世の[illegible]に　宗長

雨

谷

路の

般

に

般

友

はかな

蓬

生

般

まろ寝し森の柳ちる雲　宗悦

明まて秋川遠み橋のたえはてなん　肖柏

野(?)ともたえしらけし夏そ空　恵俊(?)

志らぬ斗を唯後の世は頼みとし（たのミイ）　玄清

こゝろさし出家人は諸(?)の筆の　宗長

出かけをしはこし（あたりイ）ながら袖(?)神さびぬ（おふでイ）　宗祇

ふるものとも宇(?)松の雪にもみて　宗友

里近き駒(?)なともと雪のりや　紫德(?)

山のこゝろは柿(?)にやなん（に・ねイ）　宗長

仕(?)よ出るも今はしく人心（おもふイ）　肖柏

うしろやかなる私(?)思しよう　宗祇

とふ人も見来(?)秋さしを秘(?)して　宗長

身をとふとへん志らぬ夕ぐれ（た）　宗友

鳴(?)きるゝんく花もうついとめ竹の原　肖柏

春は都おもふくあまてこし庵　玄清
霞待月は傾く山のもと　盛安
うつし絵も何をかして明けぬらん　長琳
夜も旅人身は終る宮のうち　紫僊
女のうへさへも悲しき　宗長
旅衣羅おりてかくは生きまし　宗牧
人事のききをとよしやたのまず　宗悦

秋のよに旅ねも人ぞちぎりかや　英俊
行き人をまたはしきまつはなれ　肖柏
神や祈るに身は松のつれん　宗祇
七五三のうちに旅なる花ふる文まつる　宗友
咲くうつる梅は松へを深くて　宗長
一つにつつ諭もしつまる庵に　紫僊
世をすて山うと計る人に　宗牧

[illegible] 弁如白仗　宗悦
秋色や釜の漁火の消て　宗祇
[illegible]
[illegible]　樹　垣根に　蔵の音　宗牧
[illegible]
[illegible]　月ぬる山里よ　宗友
[illegible]　名残[illegible]　宗長

[illegible]
[illegible]　名残をやしなふ　宗信
[illegible]　盛安　宗悦
[illegible]　謙安　宗悦
[illegible]　友　宗信
[illegible]　初半の月　肖柏

小説の要素眼行

文 十二 十一
祇 十三
諶 十
般 九
眼 二

俊 十一
悅 八
柏 十一
恕 一
重 二

清 七
林 二
長 十二
安 一

○以下宗牧トアルハ宗般ノ誤写ニツキ訂正セズ

何市霰
第五

宗牧

降るうち
雨の降る霰の如

小萩枯て霧吹柏　玄清
張庶汗衣峯より拾て　宗悦
月に云ふやうや　山波亭　宗牛
五湖庭をくぶて　宗悦
柳うち靡く　波の雫　春徳
冷しくて　宗友
たまりの下清川の上の雲　宗祇

君
ふ
ゆひ
上の雲

あくまで清く　肖柏
ふかきまつ　真俊
仕舞も初月の月　真特
永さうなれて　宗祇
住馴て　山の陰　肖柏
所本こそ　世をもてぶん　宗牛
入相つき　佛の　春徳

[illegible] 宗牧
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗友
[illegible] 無林
[illegible] 宗悦
[illegible] 宗悦
[illegible] 宗抵

時雨をぬ [illegible] 秋の [illegible] 宗牛
[illegible] 宗悦
[illegible] 宗抵
[illegible] 肯柏
[illegible] 宗友
[illegible] 宗牧

新市人の市を拂ふ　肖柏

寒きをも忘れ酒の杯よ　兵井

月のもと　宗悦

秋の夜は鐘やいとに　宗長

寒き秋しら波を　宗祇

高楼よ雲を踏まして　宗牧

ひとよ明てや高砂　宗恋

月は清く人の恨を新世よ　宗牧

雲もおくらかろくを生しらかを　肖柏

今をきく夕べ　兵俊

山もあまたを　郭子

起る雲の山風　宗祇

雲やうの星うて　紫徳

雲はたやしの時雨の月　宗長

秋の世は花のうち　井蓮　宗悦

[illegible]
悲しいかなこの屋の主人
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
人毎に[illegible]と告しつ
[illegible]
[illegible]

[illegible]
又[illegible]月[illegible]
[illegible]の芝生[illegible]
[illegible]
[illegible]のこ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

宗牧
宗牧
肖柏
宗悦
宗長
宗牧
宗牧
宗長
宗牧
宗牧
宗長
宗牧
宗牧
宗長
宗牧

山里にくらす人

肖柏

折しもあれ高雄の紅葉をたづねて　宗友

人をうつす春の色の兼徳

ゆきをまつ花をうらやむ梅の宗悦

雪をうつす梅の宗牧

うつす山路の都の月よりも　連　宗怡

あはれ深き庭の恵俊

僧の住ひのうらやましく

肖柏

見

ながめをうつす人の心へ　宗祇

友

しくれ降ぬ霜の恵俊

ちりぬる木の葉の沈む中庭　宗牧

埋

五月雨は世を沈む林　宗悦

ふるの山のかくれ家　宗牧

しられ

岑越て人の住ぬ家の宗友

ほとゝきす里のあたりかちかゝらん　玄清

夜るをいつちまてとか送らん　兼載

うき旅の月はこゝろしよ　宗牧

忘らるゝ身を秋風の虫の声　宗祇

うらむ身もきえしはてぬや　無俊

行々は名の渡りて眠らし　玄清

そらなれんはおかし高砂の松　肖柏

山桜色も楽しく春を経て　無俊

いくとせうつしのこゝろあめる　兼載

沖つ舟のとけきなみとまり舟　宗恕

きよあけて里は志は風をあらく　宗牧

川萱月と第てやうらみん　宗長

ふるきゑ出る峠の下露　盛安

いとふまに身はうきなしをよそて　無俊

[illegible]　宗祇
[illegible]　[illegible]
社の[illegible]　[illegible]
山[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　宗悦
神[illegible]　[illegible]　宗長
[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　宗恕
川[illegible]　山[illegible]　宗祇
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗悦
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗長
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗悦
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗悦

事業を移さんとす　肖柏

般　九　十二
長友　十一　九
俊清悅　十一　六

抵　十四　重一
林　二
愚謙　六　七
柏安　十一　三

山何　第六　残厚

山順　春雄

事業一段落

安俊

[illegible]て[illegible]く村[illegible]　宗友
風[illegible]松の[illegible]　宗悦
[illegible]　宗恋
神[illegible]　[illegible]
[illegible]　宗祇
雲[illegible]て書[illegible]山[illegible]　宗牧
[illegible]の釣舟　宗牧

浦風[illegible]　[illegible]て　恭徳
[illegible]波の末を岸柏
[illegible]の[illegible]　[illegible]
夕[illegible]雨を松[illegible]　恵俊
[illegible]神[illegible]岩の[illegible]　宗祇
[illegible]
[illegible]　宗牧

秋風に虹 鰹よりも那 恭徳

座の客もあらはれむ芭蕉まで 宗友

人いつはり 敵の こゝろ 宗悦

程ちかき鐘の 晩を引 宗吉

そうめんや赤きも すこしちる 宗和

杉本にもちらん物思ひ 起待て 宗友

うちかけてやむる 谷の 宗さこる 宗照

霧晴れて晴るゝ山のあらはれに 宗吉

かゝれしはしらん 喜繁うつる 金清

川波よ添ふ身を舟こそて 雲仁

月よかれ風の烈さ 宵月柏

あめつる（賴）今も秋はれゝん 宗悦

いつも舟に物思ふに 無僕

芝草を手添ひし形見にて 宗叔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 秋の面白さ [illegible] 世本 尚柏
[illegible] 松 [illegible] 田 [illegible] 宗友
[illegible] 書はる（や）人の一筆 宗長
[illegible] 秋 [illegible] 宗悦
[illegible] 宗[illegible]（の）[illegible] 無俊
[illegible] 秋 [illegible] 立 [illegible] 宗牧
こよしのうやい（とや）[illegible] 春徳

[illegible] 山路 宗長
秋風 [illegible] 初雁の [illegible] 宗悦
[illegible] 野 [illegible] 宗祇
[illegible] 雨の跡（すゝしきイ） 玉井
秋 [illegible] 壹 [illegible] 人の [illegible] 宗牧
[illegible] 川 小舟 [illegible] [illegible]（過） 宗悦
[illegible] 宗祇

枯れ[illegible]　桂　おく風　巻徳

[illegible]　宗長

[illegible]　[illegible]　宗長

世を[illegible]　[illegible]　[illegible]　

一ぢ汁よ[illegible]んとやある　宗悦

只一月ふかきよふとの秋のそら　宗支

庫のうちをを[illegible]る山風　宗祇

露時雨[illegible]をこのまより[illegible]　宗悦

いらよつふき　松のうちを　宗長

世[illegible]ちまとなん　兼徳

まじむうの白川の跡　宗悦

都をとうあるせいよ遠くまで　兼俊

時やいらく　あ牛の別　宗長

恨ても[illegible]付ふ[illegible]　宗支

あるき秋よ　人やい[illegible]　兼徳

仕人の[illegible]　やむ

[illegible]　山雪　宗悦

[illegible]る庫の[illegible]よ　松の風　肖柏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

俊 九
清 六
謀 十
安 一
文 九
祇 十二

柏 十一
悅 十一
般 九
重 四
怒 五
長 十一

林 三

一字露顯 第七 水鳥

声

第七

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible] 宗祇
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗悦
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗長
[illegible] 宗祇
[illegible] 宗長
[illegible] 宗祇
[illegible] 宗長
[illegible] 宗祇

形金寺にて　柳を伐　宗牧

いつもうき市の月の色深て　宗悦

きりよりの市の曉の山　宗友

独ねのとし笠よりとゞまる藤の夢　兼徳

市うき野寺よりの勅すく　肖柏

ふるとやい世の春も春ん　直俊

世をかくてうき世とゝもなる　重行

うき屋出ると分よりの忘まる　宗友

ちりぬるいかと秋ゆうん　宗悦

秋ひて山峯の推禁ましと　宗祇

花より後の宇治の山陰　宗牛

永屋い雲を深きうん　宗信

落雲雀もうの家　独

春ゝよつゝて秋ゝ　兼徳

秋ゝ夢枕　肖柏

[illegible]の小舟 [illegible]人をまて　宗友

[illegible]法の色　宗祇

[illegible]世をう　宗长

[illegible]墨　兼德

[illegible]す　[illegible]　丑俊

[illegible]長き比も　宗祇

[illegible]　宗牧

[illegible]を[illegible]　宗友

[illegible]の山　肖柏

[illegible]　宗长祇

[illegible]　[illegible]冬の下　宗祇長

[illegible]人の　[illegible]　[illegible]

[illegible]君かい　丑俊

[illegible]　宗祇

[illegible]
[illegible]
草刈つるる　家友
[illegible]
[illegible]
[illegible]
後の世[illegible]　家忠
[illegible]　家紙

[illegible]　家[illegible]
[illegible]　家[illegible]
[illegible]　家[illegible]

[illegible]（野の）[illegible]き　宗祇
[illegible]の　宗悦
[illegible]（たえぬ）[illegible]（きり）と　春徳
[illegible]　宗牧
[illegible]　宗长
[illegible]　宗祇
[illegible]　肖柏

[illegible]（枯て）[illegible]（の）　宗悦
[illegible]　宗信
[illegible]（や）　宗友
[illegible]（夢）[illegible]の人の[illegible]（古跡）　宗长
[illegible]（り）　肖柏
[illegible]　[illegible]　宗祇

苔むす岩の生うるまで松の感

山陰

長 十四五イ
眼 一
柏 十一
俊 十
謙 八
悦 八

抵 十五
友 十一イ
般 九
重 二
恕 二
清 六

安 二
林 一

唐何第八セイ

雪

下杉を
京形を
花の
樣の
形

雪

[illegible] 梅をく　奇の山雪　宗牧

嵐とも　坂尾の[illegible]や　備前　宗長

[illegible]　[illegible]　長人　宗悦

[illegible]　[illegible]　舟漕　[illegible]　[illegible]

少[illegible]　浦　[illegible]　宗心

引汐の　[illegible]　[illegible]　感あ

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

新田の山田に屋より風吹て　[illegible]林

[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗友

古寺や　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗悦

[illegible]　[illegible]　[illegible]　宗祇

[illegible]

山[illegible]　[illegible]　肖柏

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]の里を過ぐとて　真井（俊）

うしの里　形見こそうかりけれ　宗友

秋の風　[illegible]　伴を里川　肖柏

月よ又　時雨よ　[illegible]（長）　宗祇

[illegible]　猿ヶ馬山　感（眠）

峯の雲　井蛙の里を　[illegible]

[illegible]　[illegible]　恭信

[illegible]　[illegible]（重）

[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]　[illegible]　宗牧

[illegible]　[illegible]（場ヶ路）　宗友

[illegible]　[illegible]　宗悦

[illegible]　[illegible]　宗祇

[illegible]　冬の山　信宗牧

風[illegible]　[illegible]　宗怒

[illegible]雨[illegible]　紀の忠[illegible]　宗祇

[illegible]　宗牧

[illegible]　二條[illegible]

[illegible]　兼德

[illegible]　宗悅

[illegible]　宗牧

[illegible]　兵俊

[illegible]　宗友

[illegible]　宗祇

[illegible]　宗牧

[illegible]　宗悅

[illegible]　宗祇

[illegible]　宗友

[illegible]　肖柏

雪をあはきまてに　宗祇
月かをしの雲はらはん　宗牧
とをしきまてに人のふる　宗信
まつの声よ静なる　肖柏
うちしをれの衣の雪　宗長
梅の香をしるしるけし　宗悦
ふるさとの春の夜の　宗悦

寄宮地鈴懸峯の雲　紫雲
まうきをとうふ　宗友
雲をもまし　宗祇
月よ山の夕ゆふ　宗祇
深き梅のふる　宗牧
雲に雪降る　宗牧
月川も春や　宗信

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

[illegible] 宗悦

[illegible] 宗牧

山路を踏むと屋の内を宗長
踏を如井をいかにかはんと宗怒
はしらしかはをと謎抵
言ハは
をきせのをとを文字をつみて宗悦
屋をこのらつる人の賢を宗友
笠をつをとりやかをとをん傳をん肩柏
雪を市山をやとをとふをふ宗牧

野分は蓋紙仲はをあて垂後
松を風市くを夕もをうをう垂来
人時も屋屋谷苔の戸を宗祇
垂を知をや雨の市をん宗友長
屋を神をを屋をあのうちをて感怨
つをを屋をは市をあの生を宗怨安
野人生の学をかをとをふん宗牧

清般長悦俊恕

六 十二 十 五 七

安林友柏祇眼

三 四 四十一 九 十 二

謙

七

重

二

神祭

彩何

第九

おもて
板井

山里の草の一節荒られて　宗支

おもて　日の暑き日カ
孤しすまう客こうきの山　主信

草枕夕ちて月やうん　宗牧

秋風ヲ　ヨカ
秋風ヲ　地上の雨　安俊

明
青信の桂の色い反うて　宗牧

の　た
おちて　ちく　弱吹く　宗祇

注ぎて　林
注ぎて　安俊

行　衛
三笠山　宗湛

入海の　行　弟の　主信

人　イ　波　の　さ　き
世中い　波の　ぎ　の　ちやうん　肖柏

生　宗牧

松　食　吟
松食吟　宗支

宗悦
宗悦

夢とはかなき世を葉ごとに童の
ゝ年こゆる行い一おもひきおよ宗祇
一おもひ出ちりをいそくこゝろ　海柏
こゝろもはるの野辺の忘草　宗牧
うつるまゝ思ひくさ〻ん　宗悉
重ねても後いうかゝん　物思ひ　禅　真俊
つゝまを出ぬ秋てをゝる　紫信

山風はこゝろ如ぬ　海柏
本はなのうへ　菴　宗友
冴るおもてに戸ぬをうつ月おて　宗牧
ゆくのこと　こと　ゝ　一　五井
岩井はまちうすみ色はよ　宗牧
まゝ下草いまを　草を　ゝ　真俊
まゝ河の水　紫信

夕風に吹るゝ帰る舟人　宗悦

汗山の社の寺鐘聞て　宗祇

もゝはの木の葉も冷し　全

柏

意を解ん秋よりは月も清ふん　兼載

分しらぬ山ふかしかは　真俊

糸をもうけて今は昆布　宗怡

うとくなる世にすきぬ世にすきぬ　宗牛

[illegible]

なれるはかりの

[illegible]

年も和ら　真俊

[illegible]

ふれい

[illegible]

[illegible]　宗祇

[illegible]　宗友

[illegible]　宗祇

[illegible]　肖柏

[illegible] 春語
[illegible]の月 [illegible] 宗祇 長
[illegible] 近 [illegible]村 [illegible]俊
山[illegible] 宗牧
きのふ [illegible] 宗祇
[illegible]川 [illegible]の [illegible] 肖柏
[illegible] 宗牧

[illegible] 宗祇
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗祇
[illegible] 宗牧
[illegible] 宗牧
[illegible] 肖柏
[illegible] 宗悦

来ちうきみ
と[illegible]秋ふる[illegible]眺
鶴のよ[illegible]の[illegible]家
化[illegible]
のとけく[illegible]山[illegible]の[illegible]恭徳
こ[illegible]
[illegible]ふき風の[illegible]過家祇

[illegible]
うらもとへ[illegible]家
半[illegible]
[illegible]家祇
[illegible]
[illegible]家
[illegible]
秋風[illegible]千鳥[illegible]夜家

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]結[illegible]

[illegible]

[illegible]原[illegible]

[illegible]や[illegible]

[illegible]

[illegible]

都てこれを寄てこの事

宗祇

怨悦反請般俊

十一六六九七五

長祇十二　安眼一

林三十五

謙十

柏十三

重一

何れ何

寒梅

第十

宗一しらつゆ

肖柏

あきをこの

梅の花

まつ　まつ　まつ　まつ　日を　こと　の　拳信

谷　市　うつ　雲（霞カ）　葉　を　め　　　宗祇

鐘　し　そ　る　や　あ　め　迷（まよ）ふ　宗友

あ　を　ぬ　て　ゆ　く　と　ん　秋　の　た　宗牛

月　を　ま　ま　て　な　て　根（ね）をそする　宗信

高　を　秋　原　移　ま　て　　　宗信

ふ　し　ま　ち　く　る　野　　　宗野

ふ　し　ま　ち　く　る　麻　の　ま　ふ　　　宗俊（林）

里人の　ま　ふ　品　へ　の　日　ま　て　　宗悦

こ　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　　宗牧

川　を　ひ　の　を　お　の　紫（むらさき）　　宗牧

市　か　と　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　　

（かさなり）

義　生　ま　る　事　も　な　の　山　石　間　　威如

ひ　ま　ま　き　ま　ま　　栖　ま　ま　ま　　肖柏

う　き　世　ふ　い　と　ふ　人（をとこ）　　宗祇

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]人を[illegible]山 宗友
起きて[illegible]を一[illegible]よ 重信
[illegible]の[illegible]又や[illegible]ん 宗長
海[illegible]ふ[illegible]石枕[illegible]て 宗悠
[illegible]と[illegible]来の[illegible]さ 宗牧
[illegible]よ[illegible]や[illegible]ん 宗祇
[illegible]ふ[illegible]よ[illegible]ら[illegible]ら 宗信

[illegible]衣[illegible]ふ[illegible]ら[illegible]し 肖柏
[illegible]ら[illegible]ぬ[illegible]川 宗祇
岩[illegible]ぬ[illegible]の[illegible]ふ[illegible]て 宗友
[illegible]を[illegible] 松の[illegible]屋 宗悦
美[illegible]屋[illegible]る[illegible]峯の[illegible] 真俊
[illegible]の[illegible]山の 秋の白[illegible]し 宗長
初[illegible]の[illegible]ま[illegible]て 宗牧

[illegible]
いふ[illegible]とり 肖柏
うつよきて色[illegible]
つきをそい[illegible]やうん 宗祇
うきを[illegible]所[illegible] 兼倍
こよ世[illegible]を書せめて[illegible]ん 宗友
春の[illegible]もよ[illegible]ん[illegible]ちて 宗祇
[illegible]の世[illegible]ん 感安

山[illegible]うす[illegible]む[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ん 信[illegible] 宗悦
[illegible]ま[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ん[illegible]ま[illegible]ん 典俊
[illegible]ん[illegible]ん[illegible]ん

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いつかは深草のみやぎの原の露と消ぬべき　英俊

佛　まことの弥陀を言ふこそ　肖柏

山ぶかみ夕ぐれ時の月を惜　宗牧

世を思ふ暁起の鐘の音よ　宗祇

世を捨しく雲の奥の山　重行

川まうの梅の散て　宗牧

ふるさとの春を忘れぬ人の　英俊

近ごろの世ごころ　肖柏

ものもとめ　宗祇

何か

何ゆへ　宗悦

春

春の雪　宗支

筆の跡　肖柏

筆の跡　宗牧

山ふかくこもる市にあるさう宗祇
とも船へる小舟まやの松無俊
夏はふかうふる雨宗恕
濁りまて出宗長
あらく雨そく宗祇
肝胆らひしき軒の風宗牧
うの花ふしの月の宗長

玉川の月に夢結ぶ宗清
枕ふしうや初うる雨無俊
夢さめて今一声の郭公宗祇
うしこきの人の恋しきに兼載
文も書よめる手にかせん肖柏
なりなりて世をなる宗牧
國くを経しはまつ宗悦

[illegible]

武士の中に宗七

柏 十二
謙 十六
抵 十九
友 九

長 十二
清 十五
俊 一九
林 一九

悦 八
般 八
重 三
愛 七
安 七

寛永十九年八月九日の頃
お宮お能をさせ申候事

此一巻は拾遺集のおもてを
伊谷孫四郎うつをさうえて写
申候

寛政元年二月十九日

章南

追加　平野
和何

[illegible]